

253
Go!

あぶたん つうしん

仙台南部流域治水出張所出張所だより～♪



発行日：令和7年3月27日

発行：国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 仙台南部流域治水出張所
〒989-2441 岩沼市館下1丁目2番9号 ☎0223-22-2801 FAX:0223-22-2802

令和7年度 河川愛護モニター大募集！！

仙台南部流域治水出張所では、阿武隈川と白石川の一部を管理しています。河川整備や河川利用、河川環境に関する地域の皆様からの要望を把握し、連携を図ることを目的に「河川愛護モニター」を、下記のとおり募集します。

- 活動期間** 令和7年7月1日から令和8年6月30日（1年間）
- 活動内容** 日常生活の範囲内で、阿武隈川・白石川沿いをモニタリングし、月1回程度、情報や要望を報告する（モニター区間は約7km）
- 応募資格** 20歳以上の健康な方で、川の近隣にお住まいの方
- 応募人数** 仙台南部流域治水出張所のモニター区間全体で4名程度
- 報酬** 月額4,500円程度
- 応募期間** 令和7年4月10日（木）～5月12日（月）【必着】

1年間♪
あぶたんと一緒に
阿武隈川を見守るっちゃ♪



応募方法 下記①～⑪の事項を記入し、「はがき」もしくは「封書」でご応募ください。

- 記入事項**
- ① 氏名
 - ② 性別
 - ③ 年齢
 - ④ 住所
 - ⑤ 電話番号
 - ⑥ 職業
 - ⑦ 希望するモニター区間（地図上の①～⑤のうち一つ）
 - ⑧ 地域活動（自治会・NPO法人等）の経験の有無（有る場合、組織名・役職）
 - ⑨ 応募理由（川に関する感想・要望等を含めてください）
 - ⑩ 河川愛護モニター経験の有無
 - ⑪ 応募のきっかけとなった広報媒体を記入してください。（市区町の広報誌、ホームページ、募集チラシのうち1つ）

※行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱います。
※多数の応募があった場合は、地域活動の経験がある方を優先し選考します。
※選考結果は、郵送でお知らせします。

応募・問合せ先

国土交通省 仙台河川国道事務所 仙台南部流域治水出張所 事務係長
〒989-2441 岩沼市館下1-2-9 ☎0223-22-2801



大きくなって帰って来てね♥ サケの稚魚を守り育てる勉強会



2月17日、巨理町と宮城県漁業協同組合仙南支所の主催で、サケの稚魚放流体験学習が行われ、阿武隈川にサケの稚魚が放流されました。体験学習を受けたのは、巨理町の高屋小学校5年生10名と吉田小学校11名の児童たち。まずは、サケの習性を利用した人口ふ化放流について学ぶため、角田市にあるサケふ化場を訪れ、その後、巨理町の阿武隈川船着場から稚魚を放流しました。



サケの人口ふ化放流についての説明中



この小屋で採卵→受精→ふ化させます



ふ化したら、ここで1ヶ月間飼育されます



5cmになったら放流します



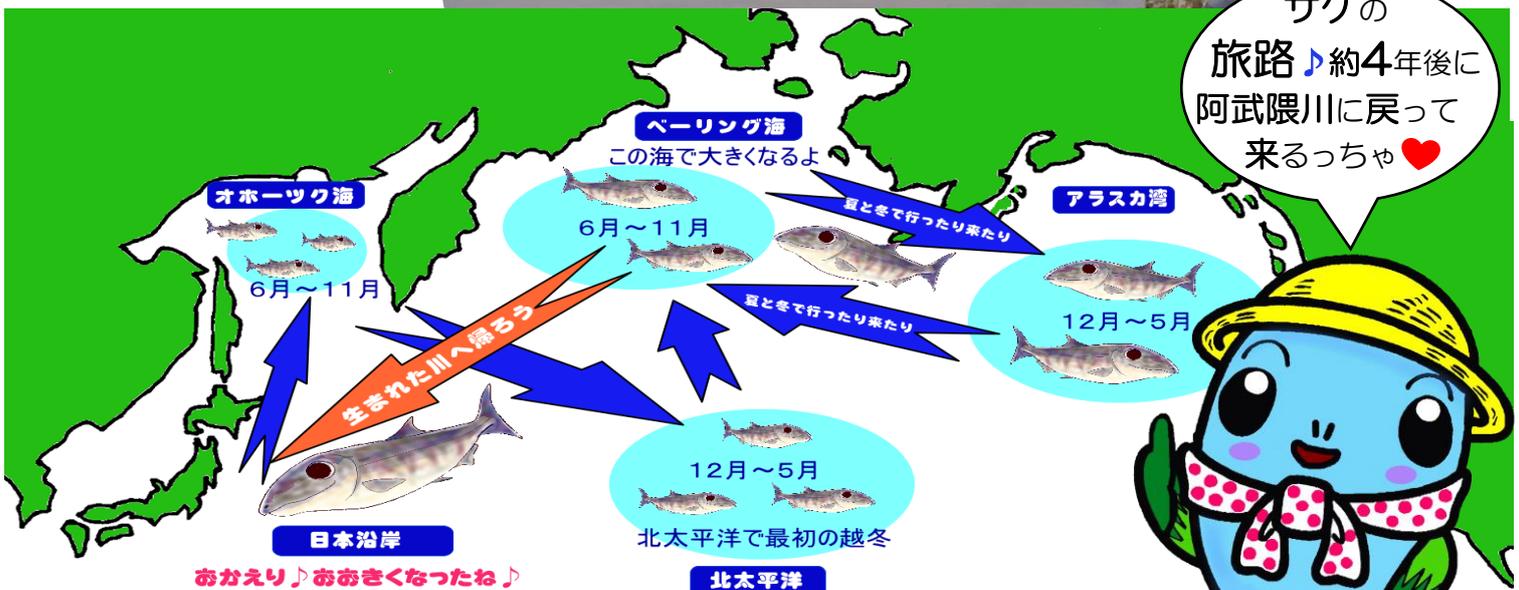
生まれた川に戻ってくる習性のあるサケ・マスを守り育てていくために、日本では100年以上前から人口ふ化放流事業が行われているっちゃ♪宮城県でも、16の河川で毎年5千万尾以上の稚魚が放流されてるよ。でも、平成20年344万匹だった宮城県の漁獲数は、年々少なくなり、去年は8000匹!?! 稚魚たちの行く手はなかなか厳しそうだっちゃ!

この日放流したの5000匹の稚魚が、大きくなって阿武隈川へ戻る確率は4%=200匹。海水温の上昇などが影響して、川へ戻るサケが少なくなっているらしいっちゃ★昔のように阿武隈川にいっぱいサケが戻ってこられるようになるといいっちゃね♪

児童達は『大きくなって戻って来てね〜♥』と優しく稚魚に声をかけながら放流♪でも、中には、川の水に驚いて動けなくなる稚魚もいて『がんばれ!』と声をかけたり、手のひらに死んでしまった稚魚をのせてじーっと見つめ、命の尊さを感じている子もいたっちゃ。

『楽しかった。なかなか体験出来ないことが出来て良かった』
『小さい稚魚が大きくなって帰って来るのが不思議だった』
『大きくなって帰って来て、美味しいはらこめしになって欲しい』

児童たちそれぞれの心に、今日の体験が深く残ったようだっちゃ♪



放流されたサケの稚魚は、阿武隈川 → オホーツク海 → 北太平洋 → ベーリング海 → アラスカ湾 → ベーリング海 → ふるさと阿武隈川へ約4年の旅を経て帰って来ます。



ポンちゃんの
編集後記

大きくなって帰って来てね♥ 稚魚を見つめる児童たち。そのやさしさに感動するあぶたん。君たちも大きくなって巨理町にきっと帰って来てケロな〜と祈る♪ ポンちゃんなのでした。